□はリンク　※はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名　グループホーム　さくらんぼ

日付　2009/2/16

評価機関名　特定非営利活動法人　高齢者・障害者生活支援センター

評価調査員 訪問介護員
訪問介護員

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※

１．評価結果の概要

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

○「さくらんぼ」という名前のとおり、スタッフのケアの様子からご利用者の方とスタッフが寄り添いあう雰囲気があります。また、建物の内装も木を十分に使用した造りとなっており家庭的で「共生」を感じることができ、四季の移り変わりが垣間見れる開放的な立地条件が屋外活動での認知症ケアに対し効果が期待できる環境です。

○外部から多種多様なボランティア活動の実施や、とても明るいスタッフの関わりからご利用者の残存機能の維持に取り組んでおられる様子が窺えました。

○提携の協力医療機関との連携も良好な様子が窺えました。また、主治医とも連携がスムーズに取れており、ご利用者の健康維持管理に配慮されています。また、栄養管理面でも「もう一品」を掲げ、より多くの食材活用に取り組んでおられます。

特に改善の余地があると思われる点

○津山市や同事業所同士との連携を図り、地域密着の工夫に取り組む姿勢はあるものの近隣との関ることができる機会をつくることに苦慮さている様子が窺えましたが、これからも地域交流活動の継続に努力されると良いと思われます。

○日中での火災時避難訓練は実施されていましたので、夜間想定の火災時避難訓練や地震を想定した避難訓練の実施をお勧めいたします。

○ＡＤＬが維持できているご利用者が多いとのことでしたので、ご利用者の加齢を想定した研修の実施や外部での研修参加をお勧めしました。

○プライバシーの保護や羞恥心への配慮の観点から各居室での排泄処理物を運び出す手法の改善をお勧めしました。

２．評価結果（詳細）

Ⅰ　運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目　グループホームとしてめざしているものは何か

「家庭的な温かさを愛を持って信頼を築く」をモットーに、ご利用者・ご家族・関係医療機関及び掛かりつけ医との信頼関係を築けるよう心がけている。ご利用者の尊厳と生活を支援し、個々の生活スタイルを維持した日常生活を提供できる環境を目指し家庭的な温かさでスタッフ一同が連携し熱意を持って取り組めることを目指している。

Ⅱ　生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目　入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か

個々にあったスタイルを念頭に利用者本人が求めているものや、したいことを提供できるよう取り組んで、ご自分の居室やリビングダイニングで自由に過ごせるよう心がけている。また、さりげない関わりで利用者と向き合い、話を聴くように勤めている。

Ⅲ　ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

Ⅲ　ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	

記述項目　一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か

生活習慣・生活歴を基本に日常生活行為(食事・排泄・入浴・整容など)の自立を促しプライバシーに配慮した支援に取り組んでいる。入居者一人ひとりの得意なことを取り入れ、能力や経験を尊重し、自己決定、希望の表出への支援に取り組んでいる。

Ⅳ　運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	

記述項目　サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。

利用者と関われる時間を出来る限り設け家族の要望・入居者の要望に応えられるケアを心がけ、職員一丸となって質の向上に向けて試行錯誤しながら取組んでいる。小さなことでも問題意識をもって常に前向きなケアを行えるよう要因と改善に取組んでいる。